

アッセンブリッジ・ナゴヤ 2018 プログラムを発表！



音楽とアートで出会う、
みなとまち

今年も港まちを舞台に、音楽とアートがあふれます

アッセンブリッジ・ナゴヤは2016年よりスタートし、名古屋の港まちを舞台にした音楽と現代美術のフェスティバルです。

音楽やアートが架け橋となり、まちと人が出会い、つながりが生まれ、新たな文化が育まれていくことを目指しています。コンサートホールや美術館ではなく、いつものまちが会場となり、名古屋の港まちの日常に音楽やアートが溶け込み、創造性溢れる場所から風景が動き出していくます。

[アッセンブリッジ assembridge] とは、「集める」「組み立てる」などの意味をもつ [アッセンブル assemble] と、 [ブリッジ bridge] を組み合わせた造語です。

期 間

2018.10.6（土）-12.2（日）

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開催

会 場

名古屋港～築地口エリア一帯

●主催

アッセンブリッジ・ナゴヤ 実行委員会
構成団体 | 名古屋市、港まちづくり協議会、名古屋港管理組合、公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、
公益財団法人名古屋市文化振興事業団

●企画体制

アートプログラムディレクター | 服部浩之、青田真也、吉田有里 音楽プログラムディレクター | 岩田彩子
コーディネーター | 谷口裕子 アーキテクト | 米澤 隆
デザイン | 中西要介、溝田尚子、岡田和奈佳 ウェブデザイン | 石垣嘉洋

●ウェブ | www.assembridge.nagoya

お問い合わせ | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会事務局

〒455-0037 名古屋市港区名港 1-19-18 3F

TEL / FAX | 052-652-2511 E-mail | press@assembridge.nagoya

●Facebook | <https://www.facebook.com/assembridge.nagoya>

●Twitter | <https://twitter.com/assembridge>

●Instagram | <https://www.instagram.com/assembridge.nagoya/>



イベントのみどころ

MUSIC 音楽

●聴くだけではない、音楽の見方、各分野と音楽の関係を探る

まちなかで行なわれる“コンサート”に出会うという機会の創出だけでなく、まちなかに音楽の環境がやってきたことに関わることで生まれるものを作り出していきたいと考えています。

リベラルアーツやSTEAM教育の声が高まり、芸術の力が注目される今、芸術を生活に取り込む方法を、みなとまちから発信していきます。これまで行ってきたコンサート展開に加え、世界の音楽教育の第一人者による講座、大学の先生方による市民講座など、コンサートを聴くだけではない、音楽の見方、または各分野と音楽の関係を、来場者とともに探っていきます。

●港まちに「暮らし」ながら音楽を奏でる滞在型プロジェクト

“レジデンス・アンサンブル”として、滞在型のアーティストの受け入れをします。

彼らと、プログラムの展開を話し合い、構築していきます。奏者自らが、みなとまちに滞在しながら、日々の演奏活動を展開することで、音楽だからできることと一緒に考えていき、次世代の演奏家を育てる機会になればと思っています。

ART アート

●2年に渡り港まちに介入するプロジェクトを展開

名古屋港界隈には、下町らしい生活や営みを感じる小さな商店や住宅から港湾の特徴のある景色までが混在しています。2年に渡りアーティストが長期的にこのまちに関わり、港まちの歴史や風景の特徴をリサーチし、プロジェクトを展開しながら新作を制作します。

またアーティストによるトークイベントなど、港まちを楽しむプログラムを多数開催します。

●港まちの移りゆく景色をキーワードに

アッセンブリッジ・ナゴヤがスタートして3年を迎ますが、商店街の商店の閉店や、空き家や空き地の増加、また新たにビルの建て替えなど、港まちの風景は動き続けています。**アーティストユニット・L PACK.**とともにカフェを中心**に港まちの社交場として開いてきた《UCO》が取り壊されることをきっかけに、地域や社会に対してアートがアクションすることを考えるトークイベントや、社交場としての機能を最大限に生かしたイベントを企画しています。**

SOUND BRIDGE サウンド・ブリッジ

●国内外で活躍するアーティストが港まちならではのパフォーマンスを発表

Aokid、角銅真実、山下残ら、国内外で活躍するアーティストが、港まちならではのパフォーマンスを発表します。

大学で映画を専攻し、ブレイクダンス、シアターピース、パフォーマンス、ドローイングなど、複数の表現手法を巧みに操るAokidが初来港し、まちにドラマを生み出します。

音楽家・打楽器奏者で、アートプロジェクトでも積極的に作品を発表する角銅真実が、昨年の「みなと音めぐり」の経験を経て再び港まちに登場します。

斬新な切り口で独自のダンス作品を発表してきた山下残は、2019年のアッセンブリッジ・ナゴヤでの新作発表に向けて動き出しています。今年はクリエイションのほか、山下残の仕事を紹介する企画を実施予定です。

MUSIC

港まちに散りばめられた音楽を味わう2ヶ月間

第3回を迎える今回は、まちなかで行われるコンサートに出会うという機会の創出だけでなく、「まちなかに現れる音楽空間」に関わることで生まれるものと「奏者と観客で共有」していきます。音楽の聴き方、楽しみ方の提案や、演奏家自身も音楽の役割、音楽で繋がる世界を模索していきます。

企画 | 岩田彩子
音楽アドバイザー | 川北真紀子



ピックアップ企画

名フィル 七重奏コンサート

開幕公演は名古屋港駅でウィーンの上質な音楽をお届けします。

10.8（月・祝）15:00-15:45

会場 | 名古屋港ギャラリー

出演 | 名古屋ヴィルトゥオーゼン [井上京 (Cl)、矢口十詩子 (Vn)、
井上絹代 (Vn)、豊永歩 (Vn)、石橋直子 (Va)、
幸田有哉 (Vc)、古橋由基夫 (Cb)]

曲目 | ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 ほか

入場 | 無料



名古屋ヴィルトゥオーゼン

みなとアクリス presents フランソワ・サルク × 成嶋志保 リサイタル

桁外れのカリスマチェリストと、フランスと日本で育まれた
ピアニストの纖細で優雅な音色が港の夜を彩る。

10.27（土）19:00-20:00

会場 | ポートハウス

出演 | フランソワ・サルク (Vc)、成嶋志保 (Pf)

曲目 | フォーレ：エレジー

 シューマン：幻想小曲集 作品73

 ショパン：チェロソナタ 作品65 ほか

サポート一席 | ¥1,500 *ブリッジパス付

サポート一席とはアッセンブリッジ・ナゴヤ2018の趣旨に賛同いただいた方にご用意する
お席です。どなたでもご購入いただけます。

*未就学児入場不可



フランソワ・サルク



成嶋志保

MUSIC

レジデンス・アンサンブル プロジェクト

公募で選ばれた2団体が港まちで10日間ずつ、実際に「暮らし」ながらさまざまな場所で演奏を繰り広げます。*公開練習を予定（観覧自由）。

小西・中村特許事務所 presents

成嶋志保 × シャルロッテ カルテット

ジョイントコンサート

10.28（日）15:00-16:00

会場 | ポートハウス

曲目 | シューマン：ピアノ五重奏曲
ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ほか

入場 | 無料



シャルロッテ カルテット

マルク・ケネル × クインテット レガロ

公開講座 & ミニコンサート

演奏家しか知らないクラシック音楽の秘密をスイスとフランスで活躍するピアニスト、音楽教育家のケネル先生が明らかにします。

11.17（土）

第1部 | 11:00-12:00

こども～初級者向け講座「音楽の聴き方、楽しみ方」*小学生以上対象

第2部 | 14:00-15:30

中級者向け講座「音楽のレッスン大公開」*一般対象

会場 | 名古屋港ポートビル

曲目 | ニーノ・ロータ：小さな音楽の贈り物、ドビュッシー：小組曲 ほか

入場 | 無料



クインテット レガロ

わたしの好きなうた～ミュージカル・オペラ・日本のうた～

会場 | ポートハウス

企画 | 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

入場 | 無料

伊勢湾海運株式会社 presents

日本のうたステージ

10.21（日）14:00-15:00

出演 | 加藤恵利子 (Sop) 、荒川裕介 (Ten) 、ピッコロオルケスター

株式会社フジトランス コーポレーション presents

オペラステージ

11.11（日）14:00-15:00

出演 | 二宮咲子 (Sop) 、塙本伸彦 (Bar) 、稻葉地オペラオーケストラ

名港海運株式会社 presents

ミュージカルステージ

11.24（土）14:00-15:00

出演 | 春日井こずえ (Vo) 、GOH IRIS WATANABE (Vo) 、ミモザ



加藤恵利子 荒川裕介 二宮咲子
塙本伸彦 春日井こずえ GOH IRIS WATANABE

みなとアカルス スペシャル・コンサート

今秋まちびらきを迎える「みなとアカルス」でスペシャル・コンサートを開催。

親子で楽しむ秋のコンサート

11.4（日）11:00-11:45

会場 | みなとアカルス内デカゴン

曲目 | モーツアルト：アイネ クライネ ナハトムジーク、ハーライン：星に願いを ほか

入場 | 無料



平康悦子 岡林和歌 ギヨルギエウ美郷 安田祥子
中瀬梨予 加納明美 山際奈津香

キャナルウォークで楽しむ秋のまちかどクラシック

11.4（日）14:30-15:30

会場 | みなとアカルス内キャナルウォーク

曲目 | バッハ：G線上のアリア ほか

入場 | 無料

出演 | 平康悦子（司会・Sop）、岡林和歌（Cl）、ギヨルギエウ美郷（Perc）、安田祥子（Vn）、中瀬梨予（Vn）、加納明美（Va）、山際奈津香（Vc）

プロジェクト

『パノラマ庭園 -移ろう地図、侵食する風景-』

2016年より続くタイトル「パノラマ庭園」のもと、会場となる港まちエリアをひとつの「庭」に見立て、作庭するようにまちにアーティストが入り込んでいきます。

2018-19年では、2年に渡り継続するプロジェクトとして、「地図」や「風景」をキーワードに、港まちのこれまで、そしてこれからと移り行く様相そのものについて探求していきます。

企画 | 服部浩之、青田真也、吉田有里



詳細コンセプト

「地図」は現在地を示す記号的側面とともに、土地の移り変わりを記録（アーカイブ）する機能を持ち合わせます。アッセンブリッジ・ナゴヤがスタートして3年を迎ますが、その間も港まちの風景は動き続けています。数多くの商店が閉店し、家屋が取り壊されると同時に、新たな建物がつくられながらもなお、空き地や空き家は増え続け、まちの風景は刻々と変化しています。

2016年からアーティストユニット・L PACK.を中心にさまざまな人びととともに「まちの社交場」として開いてきた「UCO（旧・潮寿司）」や、2015年に手芸店を改修しウィンドーギャラリーとして継続的に展示を行っている「Botão Gallery」、その並びの展示スペース「つむぎ（旧・いずみや染物店）」、この連なる3軒も2018年10月をもって閉鎖し、2018年末までに取り壊されることが決まりました。

そのようなまちの変化を受け止めながらも小さなアクションを起こし続け、その変化を記録し思考する媒体・プラットフォームとして、アートを軸に据えたプロジェクトを時間をかけて紡いでいきます。

今年は「UCO」のこれまでの活動に焦点をあてながら、これからどのようにその活動を続けていくかを模索し、記録や変容などその経過を公開します。また2019年秋に新作を発表予定のアーティストのこれまでの作品や、始動しているプロジェクトの断片を紹介します。

アーティスト

- ・碓井ゆい
- ・L PACK.
- ・山本高之



開催概要

会期 | 2018.10.6（土）-12.2（日）

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開場

開館時間 | 11:00-19:00

休場日 | 月曜、火曜、水曜

会場 | 港まちポットラックビル、UCO（旧・潮寿司）

[*ただしUCOは10.28（日）まで]

入場無料

写真上から、碓井ゆい《Empty names》2013 写真 | ミヤギフトシ、L PACK.《UCO》2016- 写真 | 怡士鉄夫、山本高之《山月記》2016

プロジェクト

L PACK. 《UCO》

約20年間、空き家になっていた旧・潮寿司。プレイベントから「空き家再生スクール」を経て息を吹き返した空間が、アッセンブリッジ・ナゴヤ2016、2017と継続しながら、カフェを中心に入れびとが集う「社交場」として開かれています。惜しくも取り壊しとなるこの場所から生まれたさまざまな取組みやコミュニティを記録／継続するためのプロジェクトへと、活動を広げます。

[*10.28（日）まで]

会場 | UCO（旧・潮寿司）



トーク

地域美学スタディ

本展を読み解くためのトークシリーズ。近年、地方都市を拠点とする建築家やアーティストが増加し、地域のコミュニティに根ざした活動や公共性・社会性が高いアートプロジェクトのあり方が各地で問われています。「地域」がフォーカスされる今、改めて有効な社会とアートのあり方を模索します。

今回はUCOの取り壊しについてを主題として、都市や地域の移り変りとアートプロジェクトにおける「場」のあり方について、アート、建築、公共、哲学、人類学の観点から検証します。

会場 | 港まちポットラックビル 1F

定員 | 各回30名（予約不要）

参加費 | 無料（プリッジバスが必要になります）



vol.8 「UCOラウンドテーブル：場所をつくること／継続すること」

日時 | 10.6（土）17:00-19:00

ゲスト | 小山田 徹（アーティスト）、

篠原雅武（京都大学非常勤講師／哲学・公共空間論・環境思想）

vol.9 「UCOラウンドテーブル：残すこと／記録すること」

日時 | 10.7（日）14:00-16:00

ゲスト | 佐藤知久（京都市立芸術大学准教授／文化人類学）、

矢口克信（現代美術家）

イベント

たとえば、いつもより早く起きて港街でモーニングを食べてみるとする。

港まちでもおなじみのL PACK.によるモーニングイベント。この場所での開催は最後となる今回、この日限りの特別な時間を演出します。

日時 | 10.7（日）7:00-10:00、10.28（日）7:00-10:00

会場 | UCO（旧・潮寿司）

定員 | 各回30名（予約不要、定員になり次第受付終了）

参加費 | 500円（モーニング・新聞付き）



UCOマーケット | Container Yard Market vol.2

フリーマーケット、手作りの雑貨、アーティストグッズなど、さまざまなものが集まり、来場者も出店者も楽しめるマーケットを開催。出店者も募集しています。

日時 | 10.20（土）11:00-17:00

会場 | UCO（旧・潮寿司）



UCO最後の3日間

UCOで過ごす最後の3日間。カフェやバー、ライブなどさまざまな「できごと」とともに、この空間のなかで移り行く特別な時間を過ごします。

日時 | 10.26（金）-10.28（日）11:00-22:00

会場 | UCO（旧・潮寿司）



SOUND BRIDGE

音楽 / アート / パフォーマンス / カルチャー 港まちを資源としてとらえ広がる、分野横断型プログラム。

さまざまなジャンルの音楽やアート、パフォーマンス、カルチャーなど、分野を横断しながらまちに広がるサウンド・ブリッジ。

日常ではなかなか気づくことのない、たくさんの「もの」や「できごと」が港まちにもあふれています。アーティストとともに見つけたこのまちの資源をもとに、まちや空間を体感し、多様な世界観に触れるプログラムを展開します。

アーティスト

- ・ Aokid (ダンサー・アーティスト)
- ・ 角銅真実 (音楽家・打楽器奏者)
- ・ 山下 残 (振付家・演出家)

(ほか)



Aokid



角銅真実



山下 残

TICKET

チケットは以下の窓口で取り扱っております。（サポートー席含む）
ご予約は公演前日19:00まで、各取り扱い場所の営業時間内に限ります。

・名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL | 052-249-9387 (ナディアパーク8F)

営業時間 | 平日 9:00-17:00

その他、事業団が管理する21の文化施設窓口でも取り扱っています。

(土曜、日曜、祝日も営業) *工事休館等がありますので、ウェブサイトでご確認ください。

・芸文プレイガイド ◆サルク×成嶋リサイタルのみ取り扱い

TEL | 052-972-0430 (愛知芸術文化センター地下2F アートプラザ内)

営業時間 | 平日 10:00-19:00 土曜、日曜、祝日 10:00-18:00

月曜定休（月曜が祝日の場合は翌日）

・アッセンブリッジ・ナゴヤ事務局

窓口 | アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内（港まちポットラックビル）

開館時間 | 11:00-19:00

[10.5（金）まで] 水曜-土曜 [会期中] 水曜-日曜・祝日

・WEB | PassMarket (Yahoo!JAPANデジタルチケット)

<https://goo.gl/GPru2X>

●ブリッジパス ¥500

トーキイベントなどに参加するための音楽・アート共通のパスです。会期中、総合案内やイベント会場でご購入いただけます。

- ・ご本人に限り会期中何度でも利用可。
- ・中学生以下無料。
- ・障害者手帳をお持ちの方と付添の方2名まで、手帳ご提示で100円引き。

広報画像の使用について

本プレスリリース内の画像を掲載する場合は、下記へお問い合わせください。

press@assembridge.nagoya www.assembridge.nagoya (プレス窓口)